

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成20年度病害虫発生予察注意報第1号について  
平成20年度病害虫発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

平成20年度病害虫発生予察注意報第1号

平成20年 5月 9日  
宮 崎 県

- 病害虫名      チャノキイロアザミウマ  
作物名          茶  
1 発生地域      県下全域  
2 発生時期      ー  
3 発生量          多  
4 注意報の根拠

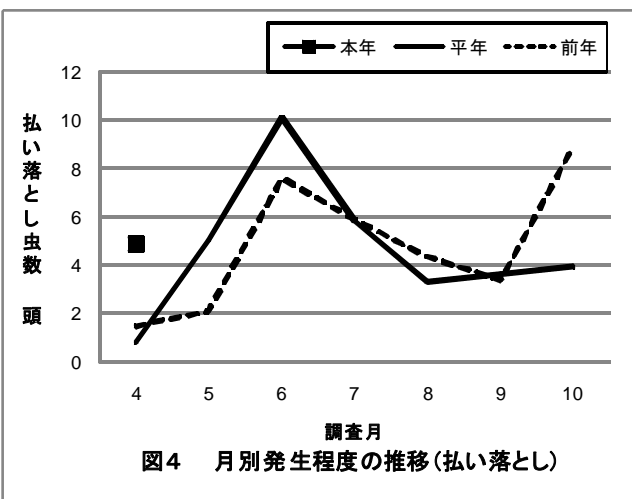
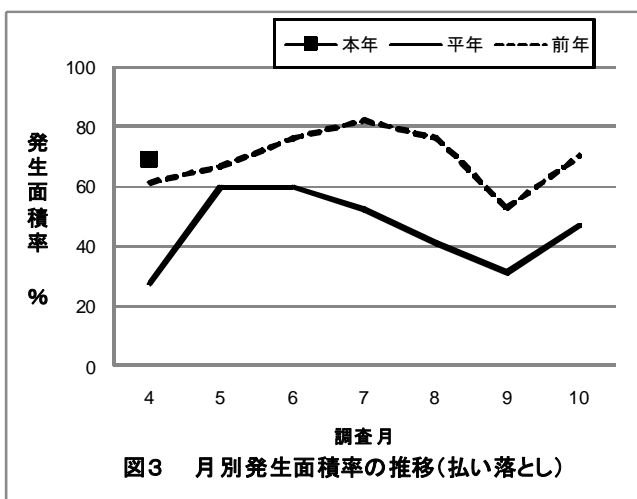
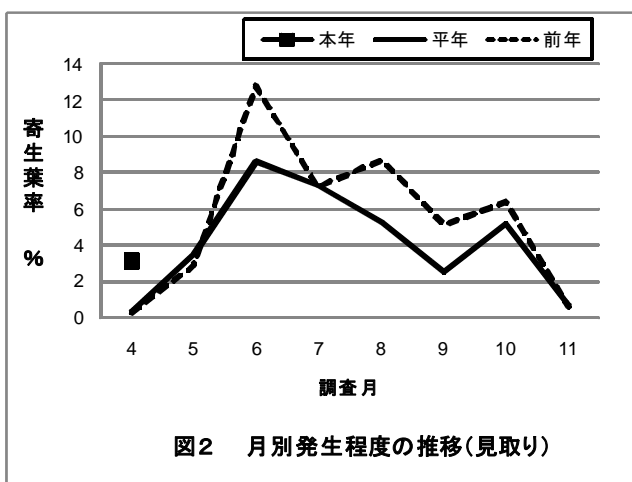
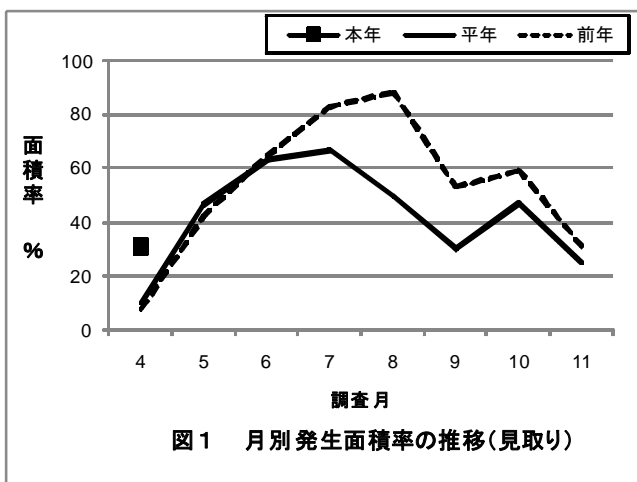
- 1) 4月中旬の巡回調査における発生面積率、寄生葉率、払い落とし虫数のいずれも平年より多い状況であった。(表1、図1, 2, 3, 4)
- 2) なお5月1、2日の追加調査における発生状況の見取り調査では発生面積率は46.2%寄生葉率は4.8%、払い落とし調査では発生面積率61.5%、払い落とし虫数は12.6頭の発生状況であり、発生が多い状況が続いている。

表1 4月中旬の巡回調査における発生状況

	見取り調査		払い落とし調査	
	発生面積率 (%)	寄生葉率 (%)	発生面積率 (%)	払い落とし虫数 (頭)
本年	30.8	3.1	69.2	4.9
平年	9.8	0.3	27.6	0.8
前年	7.7	0.2	61.5	1.5

5 防除上の注意

- 1) 本虫は、乾燥時や幼木園、中切更新園など摘採しない茶園に多く発生しやすく、平坦部を中心に、例年は梅雨明けから秋期にかけて増加する。
- 2) 蛹は地表に多く、卵は組織内にあるので薬剤がかかりにくく、防除が困難である。このため、発生量が多くなると薬剤の効果が低い各ステージが混在するため、連続した防除が必要である。
- 3) 防除は2、3番茶及び秋芽の1～2葉期の被害防止に防除の重点をおき、秋芽で多発する場合には5～7日間隔で2回以上防除が必要である。
- 4) 防除薬剤等その他の詳細については、病害虫防除・肥料検査センター、各農業改良普及センター等関係機関に照会すること。また、農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努める。



《連絡先》  
 病害虫防除・肥料検査センター 加藤  
 TEL : 0985-73-6670 Fax : 0985-73-7499  
 ホームページ : <http://www.jpnn.ne.jp/miyazaki>  
 E-mail : [byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp](mailto:byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp)